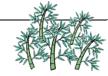
令和3年度 校長室だより

No.9

群打

令和3年6月18日 【発行者】



佐野市立田沼東中学校長 松島 繁夫

◇地域部活動が始まりました

「地域部活動推進事業」の取組が本格的に始まりました。

6月12日(土)は男女ソフトテニス部、サッカー部、剣道部、女子バスケットボール部、翌日の6月13日(日)は男子バスケットボール部の活動が「地域部活動」として実施されました。

「地域部活動」は地域指導者(たぬまアスレチッククラブの指導員として登録された方)のみで指導にあたりますが、今回は初回であることから、各部の顧問(教員)と地域指導者が一緒に指導にあたりました。なお、他の運動部及び吹奏楽部についても順次活動を始める予定です。

さて、「地域部活動推進事業」は、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革として、休日の部活動を学校教育から切り離し、地域のスポーツ活動(地域部活動)へ移行することで、教員の負担軽減と生徒にとって望ましい指導の実現を図るものです。本校においても教員の負担軽減はもちろんのことですが、各部の競技力が「地域部活動」によって向上するよう工夫していきます。













◇田沼東中学区いじめ〇(ゼロ)サミット、リモート開催

6月17日(木)、「田沼東中学区いじめ〇(ゼロ)サミット」が開催されました。今年度も昨年度に引き続き感染症対策のため一堂に会することはできませんでしたが、田沼小・吉水小・栃本小・多田小の代表児童と本校の生徒会、生活委員代表生徒がZoomによるリモートで自校の取組を紹介し、質疑などのやり取りを行いました。また、



コロナ禍を踏まえ、新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見はあってはならないことも確認しました。そして最後に生徒会長から、「佐野市いじめゼロさのまるサミット宣言」の確認がありました。

折しもイギリスで、G7 サミットがつい先日開催されました。規模は全く 異なりますが、いじめOサミットも G7サミットも、それぞれに共通した重 要課題を各代表者が一堂に会し話し合うという点で趣旨は同じです。

G7サミットでは今回は当然ながら新型コロナウイルス感染症対策が議題となりましたが、一方で、いじめ問題は各学校において必ず解決しなければならない共通した重要課題です。そのため、「いじめO」に向けた取組を各校で共有することは大変意義のあることです。そして大切なことはその先です。会議の成果を生かし、各校で「いじめO」に向けた取組がより一層充実することを期待します。

佐野市いじめゼロさのまるサミット宣言(平成26年8月)

- 一、わたしたちは 相手の立場になって考え 自分がされていやなことは 絶対にしません
- 一、わたしたちは 誰とでも笑顔であいさつをし 仲間外れをしません
- 一、わたしたちは いじめを見つけたら 身近な人にすぐ相談します

佐野市ブランドキャラクター さのまる©佐野市

「じんけん大使」

ー、大人は 子どもたちの心を受け止め 認め合う地域をつくり 子どもたちを 守ります

◇生徒の安全確保のために

1 さくら連絡網(学校安全情報メール)の確認をお願いします

今週は天候が不安定な日が多く雷雨の日もありました。雷雨の場合は、天候の回復まで原則学校待機とし下校を見合わせることから、下校時刻を変更したり、生徒の迎え(引き渡し)をお願いしたりする場合があります。これらの連絡は「さくら連絡網」にて行いますので、雷雨の際は必ず御確認をお願いします。

2 昇降口は午前7時30分頃に開けます

本校では、これまで午前了時頃に昇降口を開けておりました。しかし、早朝から昇降口を開けておくことには学校管理上課題があることから、今後は、昇降口は午前7時30分頃に開けることとします。

御理解の程、よろしくお願いします。